



後期前半を無事に終えることができました！

コロナ禍の中で、色々な行事を制限及び縮小しなければならない状況の中でしたが、後期前半は一大行事として修学旅行・見学旅行、また子どもたちが安心して生活していくための人権集会、さらには、これまでの学習の状況を調査する県学力状況調査などがありましたので、何とか、それぞれの行事を実施して、子どもたちの力を高めたいという思いを、学校全体として持っていました。そこで、職員全体で、また職員個々として話し合い、協力しながら、学校目標達成に向けて教育活動を進めてきました。12月に予定していました学習発表会につきましては、警戒レベルが高まったため、それぞれの発表を録画して、何らかの形で家庭に届けるように変更しましたが、それ以外の行事は殆ど実施できました。内容的にも充実できており、子どもたちの力を高めることにもつながっていると思います。このように、困難な状況の中で、学校教育を進めることができましたのも、各家庭や地域の皆様のご理解とご協力あってこそだと思います。本当にありがとうございました。後期後半もよろしくお願いいたします。

下記に、後期前半の締めくくりにあたって子どもたちに話した一部を紹介します。

※ 冬休みをもっと楽しくするための秘訣について

- 命を大切にすること ○新年の目標を立てること ○お手伝いをする

※ 後期前半を振り返って

○ 自分と周りの人を大切にすることの育成について

人権学習で学んだことが、言葉や態度で表れている人が増えています。あいさつについては、進んであいさつできる人が増えています。さらにがんばりましょう。

○ 確かな学力の育成

12月に県全体のテストがありました。そのテストを目標に皆さんが100%の力を出し切れるように、日頃の勉強や宿題をがんばってきました。高学年のみなさんはもちろん、低学年のみなさんも集中して真剣に受けていました。とても成長を感じました。

○ たくまし心と体の育成

体育の時間、休み時間、放課後に、鬼ごっこをしたり、ドッジボールをしたり、体力を高める遊びをみんながしていたように思います。後期後半もしっかり体力を高めましょう。



【複数学年でのドッジボールの様子】

白水台地の陽光「さん」



「コロナ感染症予防を引き続きよろしくお願いいたします～県教育委員会より～」

- ① 発熱、風邪症状等がある場合には、症状がなくなるまで登校せず、自宅で休養すること。県リスクレベルがレベル4以上の際には、同居の家族に発熱等の風邪の症状が見られる場合も登校せずに自宅で待機すること。
- ② 登校前の検温や記録等を行う等、自身の健康観察を行うこと。
- ③ 3つの密の回避、手洗い等の手指衛生、マスクの着用、換気の徹底。
- ④ 昼食時、飛沫を受けないような席の配置、食事中マスクを外した状態での会話は行わないこと。
- ⑤ 休日においては、不要不急の外出を控え、人混み等の感染リスクが高い場所に立ち入らないこと。



